

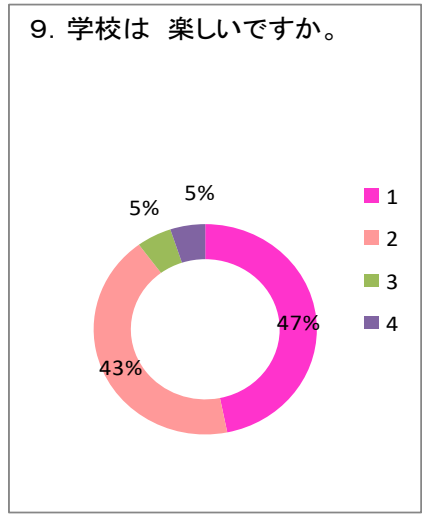
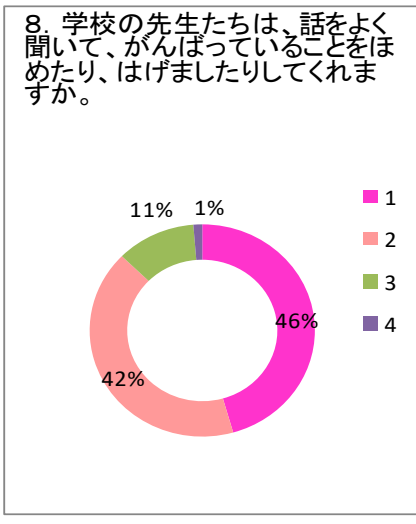
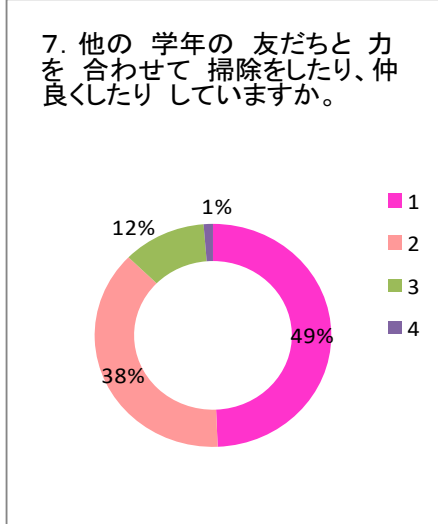
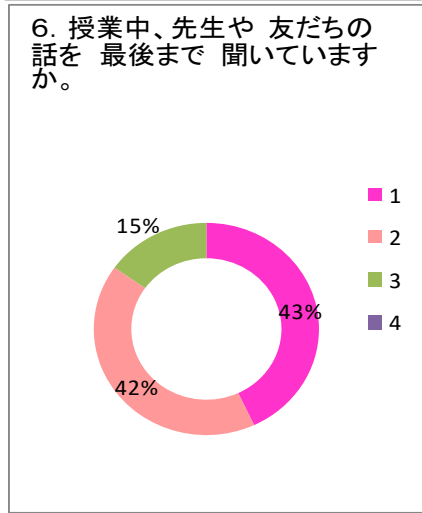
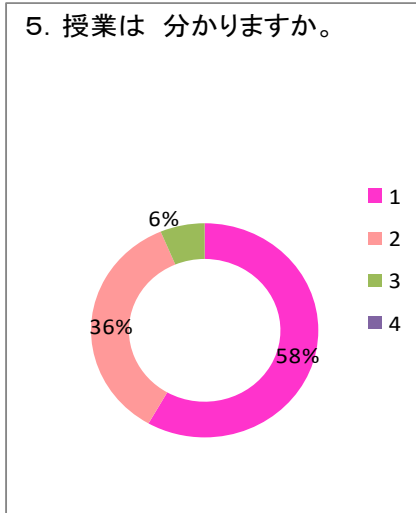
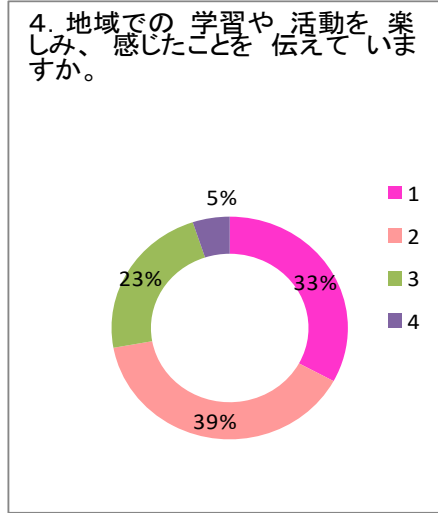
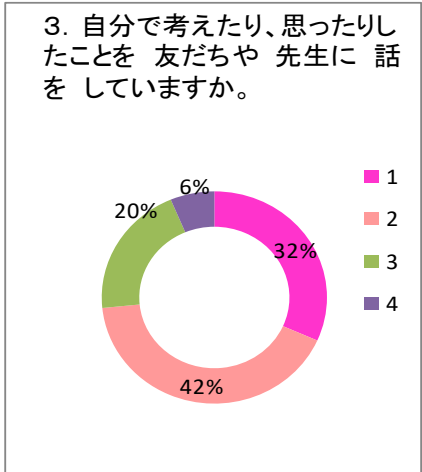
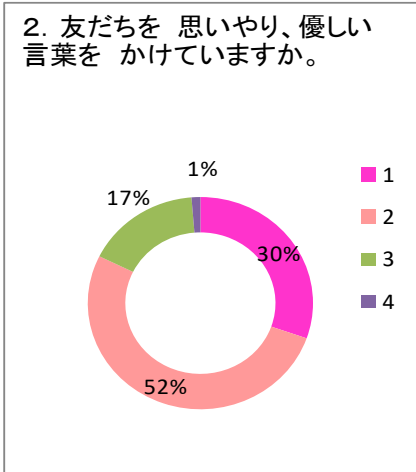
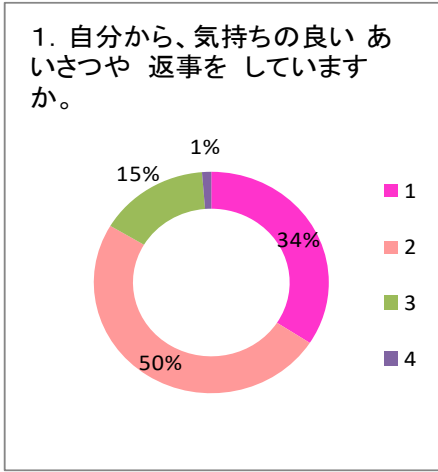


1学期学校自己評価アンケートの結果について

アンケートの結果をお伝えします。今年度のグランドデザインに合わせて、昨年度と内容を変えた評価項目もあり、成果と課題がより明確になってきました。今後の児童指導・学校運営に活かして参ります。

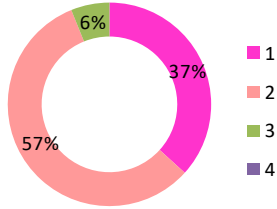
1学期をふり返って(児童評価)

■ 1 そうだ ■ 2 まあそうだ ■ 3 あまりそうでない ■ 4 そうでない

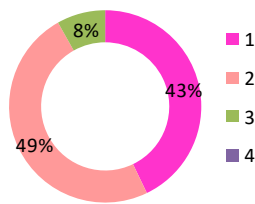


1学期をふり返って(保護者評価)

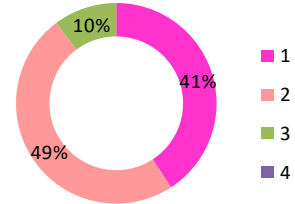
1. 学校は、あいさつや返事、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導をしていると思いますか。



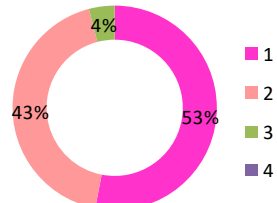
2. 学校は、自他を大切にすることが育つ指導・支援をしていると思いますか。



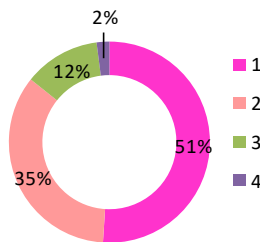
3. 学校は、子どもたちが自分の思いを伝え、表現する力を付けることに努めていると思いますか。



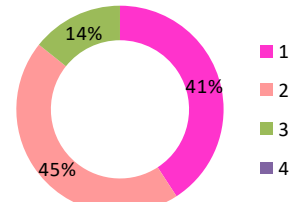
4. 学校は、地域を舞台にした学習や活動に取り組み、地域の方々とのふれあいを大切にしていると思いますか。



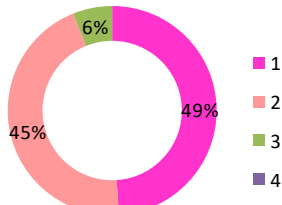
5. おさんは、授業が分かると話していますか。



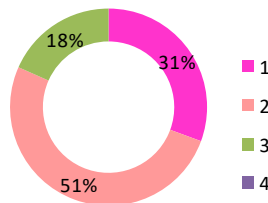
6. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちとのかかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



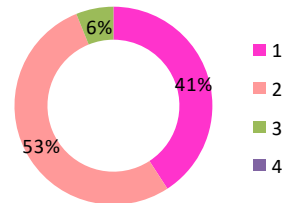
7. 学校は、異年齢との活動を大切に、協力する大切さを感じたり社会性を身につけたりできるように努めていると思いますか。



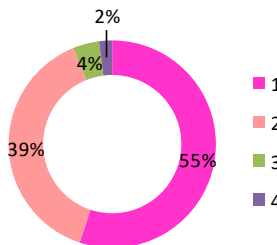
8. 学校は、子どもの様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導をしていると思いますか。



9. 学校は、学校だよりやホームページ、学年通信などで、子ども達の様子や学校の願いの発信に努めていると思いますか。



10. おさんは、学校が楽しいと話していますか。



《アンケート結果の考察》

1 児童アンケートより

▼ほとんどの項目で、肯定的評価が80%を超えました。

- 「授業が分かる」「学校は楽しいと思う」がともに90%を超えました。授業が分かること、学校が楽しいことは、学校生活の基本であり、嬉しく存じます。肯定的評価でなかった子どもたちの思いにも寄り添い、授業が分かり楽しいと思えるよう、努めて参ります。
- 「自分から気持ちの良いあいさつ～」「友だちを思いやり～」も80%を超えていました。今後さらに高まるよう、できていることをフィードバックする（「今の挨拶、気持ちよかったよ」等の言葉がけ）ことで、良さに気づき、自信を持てるように励ましていきます。
- 80%を下回った項目は、「自分の考えを話す」「感じたことを伝える」という学校教育目標に関わる項目でした。子ども同士・教師に伝える、保護者・地域に発信する等の機会を作ると同時に、伝え合えたことを認め、自信をつける方策を考えていきます。

2 保護者アンケートより

▼おうちの方の評価も「そうだ・まあまあそうだ」が全項目で80%を超え、高評価をいただきました。ありがとうございます。

- 地域での活動やふれあいについての項目が、最も高い評価をいただきました。開校150周年の記念事業をはじめ、オリジナルソングの発表を通して傍陽地域の良さを発信していること、信州型CS「ふれあい広場」で、地域との交流が再出発したこと等が、評価をいただいた要因かと思えます。これからも、地域に根差した教育活動を実践して参ります。
- 「お子さんは、授業が分かると～」「学校は友だちとの活動や話し合いなどを通して～」は、双方85%を超えているものの、授業に工夫の余地があるのではという示唆と受け止めます。学校の本分は授業であり、さらなる授業改善に取り組めます。
- 評価が低かったのが、「子どもの様子に気を配り、きめ細やかな指導～」でした。一人ひとりの子どもとの対話を大切に、きめ細やかな対応をしていきたいと考えます。



3 自由記述より

《児童アンケート》

- 多くの子どもが、教師から褒められたことをよく覚えていて、嬉しかったと書いています。むやみに褒めるのではなく、できた時に即応して「できたね」と伝えていくことが、子ども一人ひとりの自信につながります。苦手なことを頑張った時や、「いやだ」と言いながらも頑張った時に褒められると嬉しい、と書いている子どももいて、上手にできるできないではなく、頑張った過程を認めていくことが大切だと思いました。

- 友だちから「すごいね」と言われたことも自信につながっているという声が多かったです。良さを認め合う場面をつくり、友だちから認めてもらえた嬉しい気持ちが、子どもたち同士の良い関係をつくる土壌になると思われます。
- 家庭での嬉しいこととして、テストの点数や宿題のことで褒められたという答えの他に、お手伝いを褒めてもらったという答えも複数見られました。「人の役に立てた」という感じる経験が、自分の存在価値を感じることに繋がります。学校でも役割を果たす経験を多く積んでいけるよう、はからっていきます。
- 友だちとの関係で、イヤなことを言われた、されたという声があいつかありました。その時々で訴えを聞くようにしてきていますが、子どもたちの様子や関係性に目を配り、きめ細やかな指導をしていくとともに、認め合える関係性を築けるよう考えていく必要があります。
- 教師に対して、話を聞いてほしいと感じている子もいることが分かりました。子ども一人ひとりの声を聞くことのできる職員集団でありたいと思います。

《保護者アンケート》

- 学校生活で嬉しかったり、自信が持てたりすることとして、「先生、友達に自分が行った行動を認めてもらえた時」という内容が多く書かれていました。教師が子どもたちを褒め励まし認める手本となり、子ども同士が認め合える関係性を作っていくと思います。また、「努力がテストの点数などの結果として表れたときに自信がつく」というお言葉もいただきました。点数に限らず、お子さんの努力が認められるよう、支援して参ります。
 - 高学年の保護者の方からは、音楽クラブの活動が楽しく、また、自信につながっているというご意見を複数いただきました。今年度はコンクールにもたくさん参加させていただき、いい経験を積んでいるかと思ひます。ご協力、ありがとうございます。
 - 熱中症対策について、もっと早くから行ってほしいというご意見をいただきました。以前より暑い日が多く、期間も長くなっていますので、適切に対処していきたいと思ひます。
 - 友人関係で心配を感じていらっしゃる声もありました。一人ひとりとの対話を軸に、子どもたちとの関係をつくり、様子をよく見ていきたいと思ひます。
- ▼ご多忙の所、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後とも、本校へのご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

